令 和 4 年 第 1 回 広 陵 町 議 会 定 例 会
請　願　文　書　表

受理番号	受理年月日	件　　名	請願者の住所及び氏名	請願の要旨	紹介議員	付託委員会
1	令和4年2月25日	広陵町の有料ゴミ袋を半額にすることを求める請願	請願者 [redacted] 寺前憲一　ほか753名	ゴミ問題は地球環境や温暖化問題と直結した重要な問題です。私たちの町では、古寺のクリーンセンターが稼働した平成18年（2006年）11月以降、ゴミの減量を目指すとして指定ゴミ袋の有料制が導入され現在にいたっています。 ところがこのゴミ袋は原価が販売価格のほぼ4分の1で、4分の3は町の収益として新清掃施設建設基金に蓄えられ、その残高が令和3年3月末で3億5200万円余りにもなっているとのことです（町の説明による）。町議会においては、高額なゴミ袋の引き下げを求め、昨年の3月議会と6月議会に半額に引き下げるための条例改定案が提案されましたが「令和7年5月（予定）から稼働する天理の新清掃施設の状況を見てから判断するのがよい」など判断先送りを求める意見が多数で、いずれも賛成4反対9で否決されております。 もともとゴミ処理は自治体の責任で行われるもので、住民負担なしで実施するのが本来の姿（＊県内10自治体＝奈良市・天理市・香芝市・葛城市・山添村・三郷町・安堵町・明日香村・王寺町・大淀町では現在も無料です）ですが、「ゴミ減量につながるのではないか」との意見も当初からありました。 コロナ禍の長期化で生活が困窮しつつある町民が増えている中で、単発でしたが町がこれまでに無料のゴミ袋引換券(今年も配布予定)を配布されたことや本年4月から紙おむつの無料回収を開始したことは歓迎されています。しかしながら天理の新清掃施設本格稼働まで、現行の価格を維持することは、それまで「高いゴミ袋」を買い続けなければならないことになり、さらに新清掃施設本格稼働以降も現行価格が維持される可能性も残されることになります。 よって、町民の暮らし応援のために、下記事項を請願いたします。	坂口友良 八尾春雄 山田美津代	厚生建設委員会